

12月16日、田沢湖図書館で楽しいクリスマスイベントを開催しました。

「谷京子先生&アトリエクリスマスおはなしコンサート」では、およそ100人の子どもたちや親子連れで賑わい、絵本の読み聞かせや、ハーブ・フルートの演奏、かわいい指ぐるみを使った歌などを楽しみました。また、夕方からは「Chapel de Noel クリスマスコンサート」が開催され、およそ40人がコーヒースタンドを片手に、静かな大人のクリスマスソングを堪能しました。



たくさんの親子連れなどで賑わいをみせた「谷京子先生&アトリエクリスマスおはなしコンサート」。

田沢湖図書館
クリスマスの『たのしいいちにち』

横町町内会で餅つき
社会福祉活動に一役

12月17日、田沢湖生保内の横町町内会(難波和夫会長)による年末恒例の餅つきが横町会館で行われました。この行事は、昭和48年に同町内の若者が始めたもので、現在は町内会が引き継ぎ、40年以上にわたり行われています。杵と臼でついた餅は、切り餅として市社会福祉協議会を通じて、田沢湖地区の一人暮らし世帯等に配布しています。

難波会長は「毎年楽しみにしている方やお礼をくださる方もいて、やりがいを感じる。今後も活動を続けていきたい」と話しました。



あうんの呼吸で餅をつく町内会の皆さん。つきたては格別の美味しさですね。

ふるさと手作りCM大賞で特別賞受賞

12月14日、自分たちの住んでいる故郷の魅力を伝えるために開催されている「第15回あきたふるさと手作りCM大賞(AAB秋田朝日放送主催)」で、3年ぶりの審査員特別賞を受賞したCM制作実行委員の皆さんが門脇市長へ報告に訪れました。

CMは構想から脚本、撮影と角館高校放送部を中心に、若手異業種グループ畑楽(はたらく)の皆さんのサポートのもと制作されました。放送部長の佐藤桜花さん(2年生)は「仙北市はいいところがたくさんあるのに、それを“なんもね”と隠す感じで表現するのが大変だった」と。また、畑楽(はたらく)の石橋長実さんは「来年はたくさんの市民の皆さんにも参加していただけて制作したい」と話していました。

CMは今年11月末まで年間50本放送され、放送スケジュールは随時仙北市ホームページでお知らせします。



CM制作実行委員の皆さんが受賞報告に訪れました。

第13回医療と健康を考える集い

～健康づくりの大切さ学ぶ～



第13回医療と健康を考える集い(主催:大曲仙北医師会・仙北市・仙北市医療協議会)が「緩和ケアと在宅医療」と題し、11月25日に角館榎細工伝承館で開催されました。

この集いは、地域住民の心と体の健康の向上のため情報を発信して、健康づくりの大切さに目を向けて取り組んでもらえるようにと行われたものです。

今回は「緩和ケア」をテーマに、大曲厚生医療センター緩和ケア科の秋山博実先生からご講演をいただきました。また、「暮らしを支える在宅医療」をテーマに、シンポジウムが行われ、在宅医療に携わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師の方々による発表や話し合いが行われました。会場に集まった参加者は、講師のわかりやすいお話に熱心に聞き入っていました。



大曲仙北医師会 池田会長あいさつ

本日は「医療と健康を考える集い」に多数ご参集いただきありがとうございます。

「医療と健康を考える集い」は大曲仙北医師会が自治体との共催で医療に関するタイムリーな話題をお届けしたいとの思いで平成17年から開催させていただいており今年が13回目となります。大曲市、仙北市と美郷町の3自治体をローテーションしており、仙北市での開催は平成25年の第9回に引き続き今年で3回目となります。門脇市長様を始めとする仙北市の行政の皆さまには開催にいたるまでのご配慮、ご尽力、心から感謝申し上げます。

今回は最初に「緩和ケア」を取り上げました。特に大曲厚生医療センターでは緩和ケア病棟が実際に稼働しており、そちらの取り組みを主体に、同センター緩和ケア科診療部長の秋山先生からご講演いただけることとなっております。また、後半では「暮らしを支える在宅医療」とのこと、「在宅医療」をテーマ

マとしたシンポジウムを開催させていただきますことといたしました。

「緩和ケア」に関しては色々な定義もありますが、所謂、癌など生命を脅かす病気をかかえる患者さんとその家族に対し、痛みの緩和や、不安などの心理的・精神的苦痛および社会的問題を取り除くことを目的に、人としての自由と尊厳を重視して行われる患者さん中心の全人的な援助と定義されています。

「在宅医療」は高齢者の尊厳の保持と自立生活支援の目的のもと、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようにとのシステムです。そのためには地域の包括的な支援・サービス提供が必要で、これを「地域包括ケアシステム」と言いますが、その構築を厚生労働省は強く推進している状況でございます。

これは、国が各自治体に対して構築を命じているシステムですが、地域医師会としましても、積極的にこの取り組みに参加してまいりまして「地域包括ケア」実現に努力しているところでございます。

本日は、実際に「多職種連携」に携わっております。各職種の皆さまから「在宅医療」にどのような「在宅サービス」を提供しているかなど、多くの情報を提供できるものと考えておりますので、住民の皆さまのお役に立てるシンポジウムができるのではないかと考えております。

田沢湖マラソン実行委員会事務局から
派遣ランナー決定!

広報せんぼく(9月1日号)、田沢湖マラソン開会式でお知らせしましたが、2月25日に開催される高雄国際マラソン(台湾)への派遣ランナー(田沢湖マラソン市内完走者)が決定しました。

▼フルマラソン完走者 松本成年さん
▼20キロマラソン完走者 友永千春さん(ともに角館町在住)

このたびの高雄国際マラソンへの派遣は、マラソン交流の一環として、また相互の市民交流に向けた初めての取り組みとなります。お二人には、相互交流の一翼を担っていただきたいと思います。